



2014～2015年度のRIテーマ
「ロータリーに輝きを」(Light Up Rotary)
R.I会長/ゲイリーC.K.ホァン

2014～2015年度 第2740地区スローガン
『地域に輝くロータリー』
ガバナー 宮崎清彰



2014～2015年度
諫早西ロータリークラブ標語



『心の火を燃やそう』

第1410例会 2014年10月22日例会記録 NO.15 天候 曇り

【本日】会員数 39名 出席 31名 欠席 7名 休会 1名 出席率 81.57% ビジター 0名
【前々回】会員数 39名 出席 35名 欠席 4名 MC 4名 出席率 89.47%

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

会長/辻本善樹 幹事/木村暢義 創立日/昭和60年2月20日 認証日/昭和60年3月5日
例会場/平安閣 諫早サンプリエール(毎週水曜日) 〒854-0053 諫早市小川町71-1 TEL(0957)24-3907
事務局/諫早商工会議所内 〒854-0016 諫早市高城町5番10号 TEL(0957)22-3323
会報委員/山本健志・中村正美・宇土久・千住良治・原田典範

HP/http://isahaya-west.com E-mail/info@isahaya-west.com

会長の時間

「世界が認めたニッポンの居眠り」

オーストリアのブリギッテ・シテーガ氏の書いた同名の本によると、日本を訪れる外国人が再三目にするのが、日本人には人前で昼間に眠ってしまうという習性がある。電車内を見れば眠っている人だらけだし、タクシーの運転手はエンジンもかけっぱなしで眠りながら客待ちしている。勉強や仕事の合間、プレゼンを聞いているさなか、図書館内、さらには会議や授業中にも当たり前のように眠っている。

こうした眠りは日本では居眠りと呼ばれる。この言葉は「居る」と「眠り」の合成語である。言い換えれば「居合わせてはいるが眠っている」、あるいは「眠りながら出席している」ということである。眠りの深さとか、夢を見ているかどうかとは無関係で、傍目には何かほかのことをやっている間に陥る睡眠のことである。

日本の古典文学研究では、居眠りが平安・鎌倉の時代にすでに広まっていたこと、現代社会だけの現象ではないことが分かる。よく出てくるのは、警固の者がいつも柱や武器にもたれながら座って眠っている場面で、睡眠中も注意を怠らないでいるという業は一般的には武士だけにできることである。その能力を表現したもっとも有名な例は、日光東照宮の眠り猫である。この猫は徳川家康の象徴であり、家康は眠っているときもあらゆる方面に監視の目を向け、しばしば眠っているふりをしたとされる。逆にいえば、人前では決して身の安全が保証されていなかったということである。居眠りをしている人は、周囲に対する注意をすっかり失ってしまうことなく寝ていたのである。

また、明治の文部省は健康管理について、「夜起きていて昼に眠ると健康を損ねる。だからそれは慎むべきである。睡眠時間については、子どもは大人より長く、冬季は夏季より長いが、基準値としては大人の睡眠は八時間とする。だが多くの人たちは、わずか六時間の睡眠を習慣としている。」これをみると決して、せわしい現代と睡眠時間はあまり変わらず、睡眠不足が居眠りの原因でないことがわかる。さらに、サラリーマンの眠りが居眠りと呼ばれているのに対し、労働者の眠りは昼寝と呼ばれている。

一方で、居眠りを隠れ蓑にしている場合がある。電車で座って目を閉じている人が、全部眠っているわけではない。目をちょっと休めたいと思っている人もいれば、眠っているふりのこともある。居眠りをすれば社会的にその場にいないことになり、自分の姿を消すことができるのである。

居眠りは、社会的には睡眠とは見なされていない。居眠りしている当人は「睡眠とは異なる状況」において「社会に参加しながら」眠っているのであり、まさに文字通り「居+眠り」しているのである。通勤中の居眠りも乗客は大事な合図に注意を払っていて、自分が降りる駅の直前に目を覚まして下車していく。

睡眠を研究している科学者によれば、眠気には脳を「過熱」から守る働きがあり、20分ほどの昼寝の方が居眠りより回復に効くといわれ、居眠りは、数分しか眠る

ことができない場合のみに、勧めている。長めの眠り、したがって深い眠りは肉体的疲労からの回復に特に役立つが、一方、極端に短くて浅い眠りは爽快な気分にしてくれるようだ。日本初のノーベル賞受賞者、湯川秀樹は、うたた寝をしていたときに重要な中間子論を発見したとされる。これは、人間の脳が左脳と右脳に分かれていて、互いに異なる機能を果たしていて、左の論理脳は分析的であり言語を担当しているが、右の空間脳は映像の認識を行う。創造性を発揮する右脳の活動を高めるのが居眠りなのである。

このように居眠りは、社会的な隠れ蓑として役立ち、ストレスが減り、ひらめきが起きるなどいろんな効用がある。自分に合った居眠りを楽しく身に着けていただきたい。

幹事報告

【例会場所変更】

※諫早北ロータリークラブ

日時：平成26年11月13日(木) 12:30～

場所：諫早文化会館

※地区大会準備のため

※諫早南ロータリークラブ

日時：平成26年11月10日(月) 12:30～

場所：天祐寺

※百万ドルの食事例会のため

【例会時間変更】

※諫早南ロータリークラブ

日時：平成26年11月17日(月) 19:00～

場所：諫早観光ホテル道具屋

※夜の例会のため

【例会休会】

※諫早南ロータリークラブ

日時：平成26年11月3日(月) 文化の日

日時：平成26年11月24日(月) 振替休日

※定款第6条第1節により

【お知らせ】

※ガバナー事務所より

①「社会奉仕セミナー開催」のご案内

日時：平成26年12月7日(日)

13:00～受付

13:30開会

17:00閉会(予定)

場所：東彼杵町総合会館

②「地区ロータリー財団セミナー出席」御礼

※諫早商工会議所より

「平成26年度諫早商工会議所 会員大会 開催」のご案内

日時：平成26年11月7日(金)

式典 17:00～17:40

講演会 17:50～18:50

懇親会 19:00～20:30(参加費:4,000円)
場所:諫早観光ホテル道具屋

委員会報告・その他

●国際奉仕委員会(吉田委員長)

11月1日の『留学生を囲んでの国際交流会』に乗り合わせで行かれる方は、平安閣第2駐車場を使用してください。なお、朝夕は冷え込みますので、上着などを用意するようお願いいたします。



スマイルボックス



- 辻本 善樹君:鶴田小コーチの清水様、本日の卓話ありがとうございます。
- 木村 暢義君:清水さん、いらっしやいませ。卓話たのしみです。
- 宇土 久君:無事に息子の結婚式を挙げる事が出来ました。皆様大変ありがとうございました。
- 平 武君:申し訳ありません。早退します。
- 塚原 浩三君:清水友秀さん、今日の卓話忙しいなかをよろしくお願ひします。
- 日高 正朗君:宇土さん、大河君と愛さんの結婚式おめでとうございました。愛さんに不満な点があったら、私にまかせなさい!アッよけい悪くなるか!!

本日の合計(10/22)	累計額
¥23,000	¥562,540

クラブフォーラム

委員会卓話 (青少年奉仕委員会)

清水友秀様(雲仙市農業委員会/鶴田クラブ・監督)



第9回諫早西ロータリー旗争奪ミニバスケットボール大会 女子の部で、準決勝、決勝と劇的な逆転勝利を飾って優勝した鶴田クラブの清水監督に、当時の状況や作戦の経緯を、裏話を交えて楽しく語っていただきました。

●2740地区 ロータリー財団セミナー報告 会長エレクト 日高 正朗



日時:26.10.12(日) 場所:東彼総合会館

長崎国体開催当日、台風19号が近づいてる10月12日に東彼総合会館に於いて、第2740地区国際ロータリー第2740地区財団セミナーが開催され、山口会員、池松財団委員長と出席して来ました。

宮崎ガバナーのあいさつの後、山田晃ロータリー財団委員長特別報告があり、ロータリー財団の現況と目標、決算報告、活動報告がありました。その中で最も中心目標となるのがポリオ撲滅でありました。又、世界人道支援プロジェクトへの為のロータリアンの皆様の寄付金が非常に大事で意義のある事だと言う事を強調されました。その中で「ポール・ハリス・ソサエティ」と言う寄付制度があって、毎年1,000ドルをロータリアンである限り続けると、ポール・ハリス・ソサエティの名称が与えられ、ロータリアンの中でも特別な名誉あるロータリアンとして認められると云う話をされました。尚この制度は、1年の内に何回かに分けて寄付しても良いそうです。

その後、岡村康司資金管理委員長より決算報告があり、西川義文補助金委員長より活動報告がありました。昼食の後、佐賀ロータリークラブの香月武(ドクター)会員より「VTT」活動の説明がありました。平会員や早田会員が御存知のGSEと呼ばれていた活動だそうです。最近、帰国されたそうですが、モンゴルで俗に言う三ツ口ですね。口の変形手術を主にされたそうです。それにしても夜はマイナス何十度と云う土地で活動され、大変な御苦勞をされたそうですが、「ロータリアンの皆様の貴重な御寄付の事を思えば苦勞も吹っとぶんですよ」と明るく話されていたのには、本当に感動しました。この活動には、地区補助金とは別に、「グローバル補助金」と云う制度で行われるとの話でした。それからロータリー平和フェロー第2期生の岸谷美穂さんの卓話があり、現在世界各地で戦争や紛争が起こっているが、人道支援の為の世界各国のリーダーを育成する国際ロータリーの中ではポリオ撲滅運動に次ぐ重要なプログラムに位置付けられた活動だと云う報告がありました。この「ロータリー平和フェロー」と云う制度はポール・ハリス没後50周年を記念して創設されました。引き続いて2013～14年度地区補助金奨学生の吉武志穂美さんのフランスよりの帰国報告がありました。皇太子殿下も弾かれるピアノと云う楽器が大変上手な女性でした。

休憩の後、クラブにおける補助金利用の計画、申請及び実施について、各クラブの申請は9月以降に申請書を出した方が通り易いとの話でセミナーが終了しました。皆さん熱心に耳を傾け、私も初めて財団セミナーに出席致しましたが、大変有意義なセミナーだったと思ひました。以上御報告致します。ありがとうございました。